

2023 年度 事業報告書

国内において 2020 年 4 月から始まったコロナ禍は、四年目となった本年度 5 月に感染症法上の位置付けが 5 類(季節性インフルエンザと同程度・定点把握)に変更となり、国の方針が「ウイズコロナ」に大きく政策転換された。しかしながら一般社会とは異なり、高齢者が多く利用する介護施設においては、一度コロナウイルスに感染すると生命に関わる重篤な状態に陥ったり或いは大クラスターの発生に直結するなど大きなリスクがあるため従来通りの感染症対策を継続する一方、特養入居者や職員の希望者に対して本年度も 6 月と 12 月に第 6 回目と第 7 回目のコロナワクチン予防接種を実施し少しずつウイズコロナに向けた取り組みを進め、その結果、前年度のような大きなクラスターの発生や事業の一時休止等に見舞われることなく事業の継続運営が図れた。

コロナ禍・四年目を迎えた本年度は、事業運営に関して、これまでの感染防止対策を基本に前年度までの小規模行事や内部研修、利用者家族など外部に向けた Web 活用や行事写真の送付等の積極的な実施に加えて地域における感染状況を見極めながら中規模行事の開催や外部研修への参加および条件付き家族面会の実施などウイズコロナへの取り組みを増加させ施設利用者のサービス向上に繋げた。9 月にきよみず苑特養で行われた京都市の実地監査・運営指導では「入居者に対する丁寧なケア」、「財務管理」、「防災への積極的な取り組み」などが特に評価され、市への是正改善報告が求められる「文章による指摘事項」は無かった。また次年度から義務化される業務継続計画(自然災害・感染症 BCP)を策定し本年度において訓練を開始した。更には 5 年 10 年先の安定した事業運営を見据え、後継者の居ない経理担当職員を確保育成。同時に介護支援専門員の有資格者の確保と職員のスキルアップ・待遇向上を目標に資格取得支援制度を強化し 5 名の職員が試験を受験、1 名が再研修を受講した。本年度終盤の 1 月には東旺苑開設 35 周年を記念し、永年勤続職員の表彰を実施、長きに亘り法人事業を支えてきた職員の労をねぎらった。

事業実績に関しては、長期に及ぶコロナ禍の影響を受けて、全ての事業所において利用者の高齢化と重度化、認知症の進行が顕著となり平均介護度や入院者数等が上昇、職員の業務負担も増大した。これに加え国の施策が経済回復に大きく方向転換されたことによりコロナ禍で介護業界に流動していた求職者が元に戻り始め介護職員の確保がコロナ禍前よりも困難な状況となり再び派遣職員の導入を強いられることとなった。このような状況下にあつて、栄光会の強みである組織力と団結力を最大限に発揮し、各事業所において最終的に前年度に匹敵する或いは前年度を超える実績を上げることができた。

施設整備と支出関係については、本年度事業計画と予算に計上していた東旺苑のナースコールの PHS 及び固定電話機の入替工事を 7 月に実施。さらに東旺苑において設置後 20 年以上が経過し耐用年数を迎えていたリフト浴機器を 3 月に入替えて利用者へのサービス向上と職場環境の改善を図るべく施設整備を行なった。ロシアのウクライナ進攻に始まった世界的な原油やガスなどの資源高、円安による輸入品価格の上昇とそれにとまなう物価の高騰、更にはコロナ禍後の人手不足による人件費の上昇等…支出面に関しては、常に費用対効果や優先順位などを検討し計画的に対応した。特に前年度大幅に経費増となった電気料金に関して本年度は一転して大きく経費削減を果たすことができ、また上昇する物価高への対応と施設利用者への負担軽減をはかるため京都市の各種支援金(物価高騰対策・食材費高騰対策)を積極的に活用した。支出において最も大きなウエイトを占める人件費については、派遣職員費を百万円強削減できたものの法定福利費が賞与等の一時金の控除方法の変更などによって大幅に増加したことなどもあり大きく膨らむ結果となった。

新型コロナによる施設入居者や利用者の重度化・高齢化、世界規模の紛争によるエネルギー資源高と円安に伴う物価高騰、ウイズコロナに向けた取り組み、コロナ禍後における人材確保の困難等々。2023 年度は、このような様々な問題や課題に対して、法人の全部署が危機感を持って積極的且つ全力で取り組んだ結果、最終的に単年度・収支差額において黒字を確保し今後近い将来に想定される東旺苑の耐震化や大規模改修、各施設の設備機器の入替などの「備え」に繋げることができた。

1. 特養サービス部

2023年度は、永らく続いたコロナ禍が明け、面会制限などを解除する事ができる一定の見通しの立った年度となった。特に特養サービス部においては、施設は生活の場であり、感染症については職員などが持ち込む事以外に入居者様が感染する事はないという事を念頭に置き、基本的な感染予防に努め、少しずつコロナ禍以前の状態を目指し日々のケアや研修・行事の開催に取り組んだ。

また、感染症対策の影響として、外部と接する事が極端に少なくなるという数年間を経た為、自分達の日々のケアが第三者から見てどう映るのかという事を意識しながら、互いに注意喚起をし、自らの姿勢を見つめ直す事が求められる1年となった。

事業計画に挙げた、5年先・10年先の安定した事業運営を見据えた取り組みとして、法人の資格取得支援を受け、特養部としては計7名が介護支援専門員資格取得に挑戦、次代・後進の育成を推進する事ができた。

また「認知症ケア」、「身体介護技術」、「接遇マナー」の向上について、施設内研修を通して計画的な取り組みを継続。委員会や研修を通し、互いに注意をし合う事ができる環境の構築に取り組んだ。

コロナ禍の取組みとして開始したInstagramでの行事等発信についても、年度を通して継続的に発信する事ができた。

➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑（従来型・広域型・本体特養）

2023年度は、引き続き介護報酬加算の継続算定に努め、入所申込者を随時受け付け、定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入退所に努めた。年間を通して一定の入院者が発生、特に10月から1月にかけては5名の入院が発生したが、早期発見、早期対応を心掛け、比較的短期間の入院となった為、平均充足率を大きく崩す事なく年度を終える事ができた。

感染対策について十分に実施した上で、緑旺祭や敬老会を実施、誕生日レクなどほぼ毎月開催する事ができ、情報の発信として、都度SNSや毎月発行している東旺苑日和を活用し積極的な発信に努めた。

1 入居の状況（2023年度）

	入居者数（人）			満床時 延人数（人）	延人数 （人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	8	42	50	1,500	1,463	97.5
5月	8	42	50	1,550	1,489	96.1
6月	8	42	50	1,500	1,462	97.5
7月	8	42	50	1,550	1,504	97.0
8月	8	42	50	1,550	1,544	99.6
9月	8	42	50	1,500	1,449	96.6
10月	9	43	52	1,550	1,471	94.9
11月	9	42	51	1,500	1,437	95.8
12月	9	42	51	1,550	1,458	94.1
1月	9	41	50	1,550	1,474	95.1
2月	10	41	51	1,450	1,421	98.0
3月	9	41	50	1,550	1,519	98.0
合計	103	502	605	18,300	17,691	96.7
平均	8.6	41.8	50.42			

参考 2022年度 年間合計充足率 **96.5%**

2 入院の状況（2023年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	2	2	1	3	1	3	5	5	4	4	2	3	35
延人日（人日）	36	42	25	46	6	51	58	53	79	74	15	31	516

参考 2022年度 入院者数延べ **39**人、延べ日数は **487**人日

3 入・退居の状況 (2023 年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
3	4	3	0	10	1	3	6	0	10

参考 2022 年度の入居は 12 件、退居は 13 件、うち入院中退居は 4 件

4 入居者の介護度 (2023 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 3	12	13	12	12	12	12	13	12	12	12	7	6	22.3%
介護度 4	16	16	17	17	17	17	18	19	20	19	22	21	36.2%
介護度 5	22	21	21	21	21	21	21	20	19	19	22	23	41.5%
平均	4.20	4.16	4.18	4.18	4.18	4.18	4.15	4.16	4.14	4.14	4.29	4.34	4.19

参考 2022 年度の介護度は 1 から 0%・0%・26.9%・31.3%・41.8% 平均介護度は、4.15

5 入居者の年齢構成 (2023 年度末現在)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	0	5	6	18	11	8	2	50
割合	0%	0%	10%	12%	36%	22%	16%	4%	100%

2023 年度末の平均年齢は、89.1 歳

参考 2022 年度末の平均年齢は、89.0 歳

6 入居者の入居期間 (2023 年度末現在)

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	10	6	11	9	3	2	2	
割合	20%	12%	22%	18%	6%	4%	4%	
	7 年～	8 年～	9 年～	10 年～	15 年～	20 年～	25 年～	計
人数	4	2	1	0	0	0	0	
割合	8%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	100%

7 保険者の状況 (2023 年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	南区	宇治市	右京区	中京区	左京区	計
人数	34	8	3	1	1	1	1	1	50
割合	68%	16%	6%	2%	2%	2%	2%	2%	100%

➤ 東旺苑 短期入所（ショートステイ）

2023 年度において、継続利用者の高齢化・重度化が顕著に見られ、利用中止となる方が多く発生した為、積極的な新規利用者の受け入れを実施。結果 24 名の新規利用の受け入れを行い、うち 9 名は継続利用に繋げる事ができた。

また、特養入居者様の入院により発生した空床を積極的に活用、年間を通して前年度を上回る平均稼働率を維持する事ができた。

感染症対策として、多床室での対応は難しい場面もあったが、できる限りの安全確保を行った上で事業運営を行った。

1 利用の状況（2023 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	3	4	7	120	96	80.0
5 月	4	4	8	124	122	98.4
6 月	5	4	9	120	119	99.2
7 月	5	6	11	124	164	132.3
8 月	6	4	10	124	174	140.3
9 月	6	4	10	120	146	121.7
10 月	7	4	11	124	97	78.2
11 月	6	5	11	120	117	97.5
12 月	7	7	14	124	127	102.4
1 月	6	7	13	124	124	100.0
2 月	6	5	11	116	151	130.2
3 月	4	7	11	124	131	105.6
合計	65	61	126	1,464	1,568	
平均	5.4	5.1	10.5		130.7	107.1

参考 2022 年度の新規利用者は 23 名、平均利用者数は 10.8 名、稼働率は 106.5%

2 介護度別の延利用者数（2023 年度） (人)

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	6	0	70	12	8	96	3.29
5 月	0	25	59	33	5	122	3.25
6 月	0	35	50	21	13	119	3.11
7 月	7	0	61	84	12	164	3.45
8 月	0	0	66	98	10	174	3.70
9 月	20	0	72	47	7	146	3.00
10 月	0	0	44	43	10	97	3.82
11 月	7	7	45	54	4	117	3.00
12 月	11	26	42	38	10	127	3.14
1 月	0	8	51	49	16	124	3.54
2 月	0	8	88	43	12	151	3.45
3 月	5	6	83	31	6	131	3.18
合計	56	115	731	553	113	1,568	
平均	4.7	9.6	60.9	46.1	9.4	130.7	3.33

参考 2022 年度の平均介護度 3.01 合計延利用者数 1,542 人

3 利用者の年齢構成（2023 年度末利用者実績）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	1	1	2	0	2	1	2	2	11
割合	9.1%	9.1%	18.2%	0%	18.2%	9.1%	18.2%	18.2%	100%

○研修受講状況（2023年度） *東旺苑（特養・短期入所）

施設内研修

4月	2023年度事業計画と人材育成等について（役付職員研修） 高齢者虐待予防・防止研修①	法人 施設内
5月	認知症ケアと接遇研修① 熱中症・脱水研修	施設内
6月	認知症ケアと接遇研修② 緊急時対応① 食中毒勉強会 京都府感染症対策研修（動画）	施設内
7月	身体的拘束適正化研修① 緊急時対応② 京都府感染症実地研修	施設内
8月	身体的拘束適正化研修②	施設内
11月	自衛消防訓練（夜間想定）	施設内
1月	高齢者虐待予防・防止研修② 身体的拘束適正化研修② 褥瘡予防・対策研修	施設内
2月	高齢者権利擁護・プライバシー保護と法令遵守 身体的拘束適正化研修③	施設内
3月	ハラスメント防止研修 自衛消防訓練（日中想定）	施設内

施設外研修

7月	安全対策担当者研修
10月	市老協地域貢献会議
12月	市老協地域貢献会議
2月	市老協地域貢献会議
3月	市老協食事部会研修

○行事实施状況（2023年度） *東旺苑（特養・短期入所）

4月	不在者投票（市議府議）、お花見レク、誕生日レク
5月	菖蒲湯レク、緑旺祭、映画レク
6月	映画レク、おやつレク、誕生日レク
7月	映画レク、夏祭りレク、誕生日レク
8月	映画レク、盆法要、誕生日レク、おやつレク
9月	敬老会、誕生日レク
10月	誕生日レク
11月	秋祭りレク、花火大会、誕生日レク
12月	誕生日レク、クリスマス会、もちつきレク、終湯レク
1月	初釜レク、音楽レク、映画レク、おやつレク、誕生日レク、外出初詣レク カラオケレク、永年勤続表彰式、不在者投票（市長）
2月	節分レク、誕生日レク、ギターレク、映画レク、カラオケレク
3月	ひな祭りレク、ギターレク、誕生日レク、映画レク

○介護課

人員不足という大きな課題に対して、積極的に多職種と協力し精一杯のケアの提供を実施、職員同士の絆を深める事が出来た年度であった。

ケアの質の向上を目指し、利用者様とだけでなく、職員間におけるコミュニケーションにも注力し、コロナ禍においてなかなか実施する事が難しかった行事等についても積極的な実施に取り組んだ。

認知症ケア・接遇マナー・身体介助技術について、大きな課題と位置づけ、毎月接遇委員会を継続開催し、職員同士が注意喚起する事ができる雰囲気作りに努め、施設内研修についても積極的に開催した。

○支援課（ケアマネジメント）

支援課として京都府介護支援専門員会が推進する京都式ケアプラン点検ガイドラインに基づきながら、個々の利用者様における多方面からの課題に対し、多職種間の連携を図りながら速やかに施設サービス計画の見直しを行い適切な支援提供に結び付けた。また、サービス進行管理表ではサービス計画者や介護保険有効期間等に不備が発生しないように心がけた。

○栄養管理課

①栄養マネジメント

ケアマネジャーと連携し家族等の協力を得てカンファレンスの開催に努めた。また栄養リスク別にモニタリングを実施し、多職種連携を心掛け、高リスクの利用者については月 2 回の体重測定と褥瘡リスクの把握を実施し入居者の状態把握に努めた。

②給食について

毎月定期的に給食委員会を開催し、残食の検証や食事提供に係る改善点を検討し共有するように努めた。また面前提供の機会を活用し、より良い食事環境の実現に取り組んだ。

③その他

毎月のお誕生日レクを継続する事が出来た。

○健康管理課

嘱託医と日常的に連携を取り、入居者様の日々の健康管理、異常の早期発見・早期対応に努めた。

コロナワクチン接種やインフルエンザワクチン接種を始めとした職員の健康管理にも努めるだけでなく、体調不良時の欠勤などの啓発も積極的に実施した。

また、ケアの質の向上の一環として、感染症予防についての発信だけでなく褥瘡予防や陰部洗浄といった介護業務に係る内容についても発信に取り組んだ。

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑（ユニット型・地域密着型・サテライト特養）

2023年度において、前年度に引き続き、感染症の影響を受け、施設を全面開放した催しは継続中止したが、地域密着型事業所としての運営推進会議については、年度計6回の対面開催を再開する事ができた。

例年実施しているすみれフェス・敬老祝賀会を始めとした行事の実施に際して、各ユニット単位でのレクリエーションとして小規模で実施する事で、結果として年間を通して、より入居者様一人一人に寄り添った形での実施を継続的に努める事ができた。

施設内研修について、事業計画に沿った研修計画を大きな変更なく実施する事ができた。

感染症対策として、以前に発生したクラスター感染の経験を活かした感染症BCPを策定。年度内において机上訓練を実施した。

稼働状況について、年間を通して毎月入院者が発生する年度となったが、それにより一部併設ショートステイの空床利用にも活用する事ができた。

1 入居の状況（2023年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	7	22	29	870	865	99.4
5月	7	22	29	899	877	97.6
6月	7	22	29	870	863	99.2
7月	7	22	29	899	897	99.8
8月	7	22	29	899	869	96.7
9月	7	22	29	870	866	99.5
10月	7	22	29	899	864	96.1
11月	7	23	30	870	803	92.3
12月	5	24	29	899	820	91.2
1月	5	24	29	899	864	96.1
2月	5	24	29	841	821	97.6
3月	6	23	29	899	880	97.9
合計	77	272	349	10,614	10,289	
平均	6.4	22.7	29.1		857.4	96.9

参考 2022年度の平均充足率は99.0%

2 入院の状況（2023年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	1	1	1	1	2	1	2	2	3	3	2	3	22
延人日（人日）	5	22	7	2	30	4	35	56	61	27	16	19	284

参考 2022年度の入院者数は、延べ5人で、延べ日数は81人日

3 入・退居の状況（2023年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
2	3	1	0	6	3	0	3	0	6

参考 2022年度の入退居は各6件

4 入居者の介護度（2023年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合(%)
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度3	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	7	7	24.6
介護度4	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	13	13	49.9
介護度5	7	7	7	7	7	7	7	8	7	7	9	9	25.5
平均	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.03	3.97	3.97	4.07	4.07	4.01

参考 2022年度 平均介護度は3.95

5 入居者の年齢構成（2023年度末現在）

	～64歳	65歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	1	0	3	5	9	7	1	3	29
割合	3.4%	0%	10.2%	17%	30.6%	23.8%	3.4%	10.2%	100%

2023年度末の平均年齢は、88.5歳

参考 2022年度末の平均年齢は、88.8歳

6 入居者の入居期間（2023年度末現在）

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	6	4	5	3	2	1	8	29
割合	20.7%	13.8%	17.2%	10.3%	6.9%	3.5%	27.6%	100%

7 保険者の状況（2023年度末現在）

	山科区	東山区	左京区	上京区	計
人数	25	2	1	1	29
割合	86.2%	6.8%	3.4%	3.4%	100%

○研修受講状況（2023年度）

施設内研修

4月	2023年度事業計画と人材育成について（役付職員研修）	法人
5月	熱中症・脱水研修	施設内
6月	新入職員研修 食中毒勉強会 日中夜間緊急時対応研修	施設内
7月	尿路感染症と排泄ケア研修 身体的介護技術勉強会①	施設内
8月	京都府感染症対策実地研修 身体的介護技術勉強会②	施設内
9月	口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会① 危機管理予測①	施設内
10月	普通救命講習 口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会② 危機管理予測②	施設内
11月	ノロウイルス実践研修	施設内
12月	身体的拘束適正化研修	施設内
1月	認知症ケアと接遇マナー研修 高齢者虐待予防・防止研修	施設内
2月	高齢者権利擁護・プライバシー保護と法令遵守 介護事故発生予防研修	施設内
3月	ハラスメント防止研修 感染症 BCP 机上訓練	施設内

施設外研修

9月	OJTリーダー養成講座
11月	コーチング研修
2月	アサーション研修

○行事実施状況（2023年度）

4月	お花見外出レク、花見室内レク、おやつレク・おやつ作りレク
5月	誕生日レク、すみれレク
6月	七夕飾り付け、おやつレク、輪投げレク
7月	スイカ割りレク、誕生日レク
8月	夏祭りレク、誕生日レク
9月	誕生日レク、敬老レク
10月	運動会レク
11月	紅葉外出レク、誕生日レク、鍋レク
12月	誕生日レク、お疲れ様会、クリスマスレク
1月	100才祝いレク、初詣外出レク、福笑いレク、誕生日レク
2月	節分レク、誕生日レク
3月	ひな祭りレク、誕生日レク

○介護課

2023年度は、特に感染症に対する意識の向上、ユニットにおけるコミュニケーションの強化を行い、よりチームとして統一性のあるケアの提供に努めた。

各ユニットから委員会構成員を選出、それぞれの委員がユニット内で啓発を行う事を意識し、日常業務の中での職員教育・育成にも意識的に取り組んだ。

また、家族様参加型のレクの開催を実施する事はできなかったが、コロナ禍で経験した事を活かし、毎月入居者様それぞれに寄り添ったレクリエーションを実施し、その様子をSNSや写真の郵送などで積極的に発信し、家族様との関係性の維持・構築に努めた。

○支援課

毎月定例で入居選考会議を実施し待機者の確保・把握に努め、入所前面接を計画的に行う事で円滑な入居支援を行った。各部署だけでなく家族様とのコミュニケーションに努め、円滑な入居者支援に努めた。

○栄養管理課

①栄養ケアマネジメント

定期の体重測定・血液検査を基に各入居者の栄養状態・身体状態の把握に努め、ケアマネジャーと連携し本人や家族様の意向を含めた栄養ケア計画の作成を行った。

②給食について

委託給食会社と協力し、安全かつ衛生的な食事提供を実施する事ができた。また、毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行った。

③その他

各ユニットにおいて、お誕生日レクやおやつレクを実施する事が出来た。

○健康管理課

嘱託医・他職種と連携を図り、入居者の身体状況の把握及び健康管理を行う事で異常の早期発見に努め、高齢化・重症化に伴う早期の対応に努めた。

医療専門職として、介護職員とのコミュニケーションに努め、報告・相談のしやすい環境の構築に取り組んだ。

また、セルフチェックとして可能な限り看護職員同士で互いの確認を行う事で事故の発生予防に努めた。

2. 在宅サービス部

2023年度は新型コロナの感染症法上の位置づけが第5類へ移行し、各事業所も「ウイズコロナ」に向けた取り組みを増やししながら、接遇・サービスの質の向上を意識した事業運営を心掛けて取り組んできた。その結果、ショートステイやケアプランセンターは目標数値を大きく上回る結果を残せた。しかしながら、デイサービスセンターにおいてはここ数年の新型コロナによる閉鎖的な生活環境の影響からか5類移行後の6月より右肩下がりの平均人数となり、年度末の3月には再び新型コロナがデイからサ高住に拡大流行し、利用者数に大きく影響が出た。またサービス付き高齢者向け住宅も同じくコロナ感染の影響を受けて陽性者や体調観察者も増加。結果としてヘルパーステーションの職員罹患やPPE対応などで翻弄させられた。

以上から、在宅サービス部の中枢とも言えるサービス付き高齢者向け住宅の入居者数の安定と健康維持が大きく各事業所に影響を及ぼすことから、今後も各事業所と情報共有を密にして安定した運営を目指す。

➤ 短期入所施設 きよみず苑（ショートステイ）

2023年度において、介護福祉士資格保有職員の比率を上げ、より現場対応力を拡充し、緊急的なニーズだけでなく、単発利用のニーズにおいても積極的な受け入れを継続、新規利用の受け入れは41名。うち25名の方を継続利用に繋げる事ができた。

また、現場職員も積極的に送迎業務を実施する事で、利用者様だけでなく、家族様に対しても顔の見えるサービスの提供を実施する事に努め、安心できるサービスの提供に努めた。

感染症への対応として、前年度に経験した事を活かし、有事の際には感染症対策の早期初期対応を徹底し、再度クラスター感染を起こす事なく、安全な事業を行う事ができた。

サービスの質の向上を目的として、現行の気づき報告書と事故報告書の境界にインシデントレポートを導入。細かな事例に対して再発防止策の徹底を実施した。

1 利用の状況（2023年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4月	16	20	36	300	304	101.3
5月	12	18	30	310	322	103.9
6月	12	21	33	300	291	97.0
7月	11	19	30	310	312	100.6
8月	12	21	33	310	313	101.0
9月	15	19	34	300	331	110.3
10月	16	23	39	310	362	116.8
11月	11	19	30	300	337	112.3
12月	14	19	33	310	339	109.4
1月	15	17	32	310	361	116.5
2月	15	17	32	290	336	115.9
3月	14	19	33	310	344	111.0
合計	163	232	395	3,660	3,952	
平均	13.6	19.3	32.9		329.3	108.0

2023年度 新規利用者 41名
 参考 2022年度 新規利用者 28名 平均稼働率 103.5%

2 介護度別の延利用者数 (2023 年度) (人)

	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	0	17	52	84	52	99	304	3.44
5 月	0	0	29	36	106	53	98	322	3.30
6 月	0	0	30	37	87	54	83	291	3.18
7 月	0	0	25	38	115	45	89	312	3.10
8 月	0	0	26	47	110	43	87	313	3.21
9 月	0	0	21	56	105	61	88	331	3.29
10 月	0	0	31	60	101	76	94	362	3.13
11 月	0	0	25	39	126	62	85	337	3.23
12 月	0	0	29	50	105	84	71	339	3.30
1 月	0	0	24	55	122	84	74	361	3.19
2 月	0	0	18	49	90	99	80	336	3.38
3 月	0	0	15	29	146	64	90	344	3.36
合計	0	0	290	548	1,297	777	1,038	3,952	
平均	0	0	24.2	45.7	108.1	64.75	86.5	329.3	3.26

参考 2022 年度 平均介護度 3.06 合計延利用者数 3,777 人

3 利用者の年齢構成 (2023 年度末利用者実績)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	0	0	4	3	5	13	6	2	33
割合	0%	0%	12%	9%	15%	40%	18%	6%	100%

4 行事レク実施状況 (2023 年度)

4 月	お菓子作りレク
5 月	すみれレク
6 月	
7 月	すいか割りレク
8 月	夏祭りレク・花火レク
9 月	敬老レク
10 月	運動会レク
11 月	
12 月	クリスマス会
1 月	
2 月	節分レク
3 月	

5 研修受講状況 (2023 年度)

4 月	役付職員研修 (2023 年度事業計画と人材育成)
5 月	熱中症・脱水勉強会
6 月	食中毒勉強会、日中・夜間緊急時対応
7 月	OJT リーダー育成研修① (外部研修)、尿路感染症と排泄ケア研修 身体的介護技術勉強会①
8 月	感染症対策実地研修、身体的介護技術勉強会②
9 月	OJT リーダー育成研修② (外部研修)、危機管理予測① 口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会①
10 月	口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会②、危機管理予測② 普通救命講習
11 月	ノロウイルス実践研修
12 月	身体的拘束適正化研修
1 月	認知症ケアと接遇マナー、高齢者虐待予防・防止研修 褥瘡予防と体位交換研修
2 月	高齢者権利擁護と法令遵守 (プライバシー保護)、事故発生予防研修
3 月	ハラスメント研修、自然災害 BCP シミュレーション訓練 感染症 BCP 机上訓練

➤ デイサービスセンター きよみず苑

2023年度は目標平均利用者数を現実的に設定したにもかかわらず、ご利用者の高齢化や重度化による施設入所や入院、逝去などにより6月頃より平均利用者数が下がり続けた為、居宅介護支援事業所への空き情報の提供や体験利用の積極的な受け入れを続けた。しかしながら冬場の利用者数落ち込みや、3月下旬にはコロナ感染がデイ利用者高住入居者に広がり非常に厳しい結果となった。そのような中ではあるが事業計画に掲げていた「デイサービスらしさ」を実現するために年末年始には職員が一丸となり賑やかなレクリエーションを実施。ご利用者様の笑顔も多数見られた。

1 利用の状況 (2023年度) ()内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	25	61 (26)	566 (267)	22.6 (10.7)
5月	27	60 (26)	605 (286)	22.4 (10.6)
6月	26	61 (27)	565 (272)	21.7 (10.5)
7月	26	59 (25)	548 (269)	21.1 (10.3)
8月	27	59 (24)	551 (273)	20.4 (10.1)
9月	26	59 (25)	555 (268)	21.3 (9.9)
10月	26	56 (23)	545 (267)	21.0 (10.3)
11月	26	57 (23)	520 (258)	20.0 (9.9)
12月	25	53 (22)	483 (240)	19.3 (9.6)
1月	24	52 (21)	461 (226)	19.2 (9.4)
2月	25	51 (22)	471 (244)	18.8 (9.8)
3月	26	53 (22)	453 (212)	17.4 (8.2)
合計	309	681 (286)	6323 (3082)	20.4 (9.9)

参考 2022年度の延利用者数は**6446 (2745)**、1日平均利用者数は**20.9 (8.9)**

2 介護度別の延利用者数 (2023年度) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護1	82	64	67	57	52	54	62	65	65	57	64	58	62.3
介護2	120	161	156	163	170	172	173	150	147	132	134	142	149.3
介護3	201	200	172	171	179	183	155	152	136	133	131	114	160.6
介護4	17	31	26	31	38	38	36	40	27	28	23	21	29.7
介護5	95	90	87	82	73	75	76	66	64	66	81	75	77.5
計	515	546	508	504	512	522	502	473	439	416	433	410	481.7
支援1	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	4	0.9
支援2	51	59	54	28	31	33	43	43	36	38	38	39	41.1
申請中	0	0	3	16	8	0	0	1	4	7	0	0	3.3
計	51	59	57	44	39	33	43	47	44	45	38	43	45.3
合計	566	605	565	548	551	555	545	520	483	461	471	453	526.9
平均介護度	2.68	2.67	2.64	2.76	2.72	2.71	2.64	2.61	2.56	2.61	2.67	2.61	2.66
稼働率(%)	90.1	89.6	86.9	84.3	81.6	82.2	83.8	80.0	77.3	76.8	75.3	69.6	81.5

参考 2022年度の平均介護度は**2.54**、平均稼働率は**83.5%**

3 研修受講状況 (2023年度)

4月	役付職員研修
5月	熱中症・脱水
6月	食中毒
7月	尿路感染 OJTリーダー育成研修①(外部)
8月	緊急時対応 感染症対策実地研修
9月	OJTリーダー育成研修②(外部) 口腔ケア・誤嚥性肺炎
10月	普通救命講習
11月	感染症研修 身体拘束
12月	身体拘束
1月	認知症と接遇 高齢者虐待予防 虐待防止
2月	高齢者権利擁護・法令遵守 介護事故予防マニュアル
3月	ハラスメント BCP 訓練

4 行事実施状況 (2023年度)

4月	誕生日 お花見ドライブ
5月	誕生日
6月	誕生日
7月	誕生日 夏祭り
8月	誕生日 かき氷
9月	誕生日 敬老会
10月	誕生日
11月	誕生日 紅葉ドライブ
12月	誕生日 忘年会(お鍋) 皆勤賞
1月	誕生日 初詣レク
2月	誕生日 節分レク
3月	誕生日

➤ ヘルパーステーション きよみず苑

2023年度はご利用者の体調不良や認知症の進行で朝昼夕の定時排泄介助の訪問がさらに増え、月当たりの平均訪問件数が約780件と前年度より100件程訪問件数が増加した。ご利用者の体調は不安定でADL低下と認知症の進行もあり、介護保険外の自費サービスでの服薬確認が特に増加した。併設デイサービスや担当ケアマネジャーと常に連携、情報共有し、在宅生活が少しでも長く継続できるように援助を行なった。

1 利用の状況（月別・利用件数）（2023年度） (件)

	総合事業			要介護				総合計
	生活型	介護型	合計	身体介護	生活介護	身体生活	合計	
4月	0	9	9	637	140	10	787	796
5月	0	8	8	641	147	10	798	806
6月	0	8	8	580	143	7	730	738
7月	0	8	8	658	138	9	805	813
8月	0	9	9	657	140	12	809	818
9月	0	8	8	646	134	12	792	800
10月	0	9	9	669	139	11	819	828
11月	0	9	9	609	145	9	763	772
12月	0	8	8	552	138	4	694	702
1月	0	8	8	592	121	11	724	732
2月	0	8	8	600	131	6	737	745
3月	0	8	8	679	111	3	793	801
合計	0	100	100	7520	1627	104	9251	9351

参考 2022年度 身体介護は6374件、総合計数は8171件

2 介護度別の実利用者数（2023年度） (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	1	9	11	6	2	2	31
5月	0	1	8	12	6	2	2	31
6月	0	1	8	12	6	2	2	31
7月	0	1	8	11	5	2	2	29
8月	0	1	8	9	6	2	3	29
9月	0	1	6	9	7	2	4	29
10月	0	1	8	8	7	2	4	30
11月	0	1	8	8	7	2	4	30
12月	0	1	7	8	7	3	3	29
1月	0	1	7	8	7	2	3	28
2月	0	1	6	10	5	1	5	28
3月	0	1	6	10	5	1	5	28
合計	0	12	89	116	74	23	39	353

参考 2022年度の合計（延べ実利用者数）は365名

3 介護保険外の利用者数 (2023 年度)

(人)

	服薬管理	ラウンジ送迎	配膳下膳	通院	洗濯	自費(家事)	自費(身体)	合計
4月	18	2	13	0	5	2	1	41
5月	19	2	12	0	5	2	1	41
6月	20	2	13	0	5	3	1	44
7月	19	3	16	0	7	4	2	51
8月	18	3	16	0	8	3	2	50
9月	18	3	15	0	8	4	1	49
10月	18	3	17	0	6	4	3	51
11月	19	3	15	0	6	3	2	48
12月	18	3	14	0	6	4	1	46
1月	17	4	15	0	5	3	1	45
2月	17	5	13	0	5	3	2	45
3月	16	4	14	0	5	4	2	45
合計	217	37	173	0	71	39	19	556

参考 2022 年度の合計 (延べ利用者数) は 549 名

4 研修受講状況 (2023 年度)

4月	役付職員研修(2023年度 事業計画と人材育成)
5月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(脱水症・熱中症)
6月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(食中毒)
7月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(尿路感染)
8月	感染対策研修
9月	
10月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(口腔ケア・誤嚥性肺炎)
11月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(ノロウイルス)
12月	事故防止委員会勉強会(身体拘束)
1月	サービス向上委員会(認知症と接遇)(虐待予防)(褥瘡)
2月	サービス向上委員会研修(権利擁護・法令遵守)
3月	サービス向上委員会研修(ハラスメント)

➤ ケアプランセンター きよみず苑

2023年度は内部・外部共に認知症進行や状態悪化にて在宅生活が難しいケースもあったが、居宅内での情報共有や相談を重ね、各事業所と連携し支援を行う事ができた。

また、目標達成に向けて常に担当件数や給付管理数を意識して業務を行い、年間を通して80件以上の給付管理数と稼働率100%(月70件)を達成することができた。

1 介護度別の給付管理数 (2023 度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	27	25	26	24	26	25	25	27	29	28	26	24	312
介護2	31	30	30	31	32	33	33	33	34	34	34	33	388
介護3	17	18	17	16	16	16	15	15	14	14	13	14	185
介護4	6	6	6	6	6	6	7	7	5	6	6	6	73
介護5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	5	51
計	85	83	83	81	84	84	84	86	86	86	85	82	1009
平均介護度	2.16	2.20	2.18	2.19	2.16	2.17	2.19	2.16	2.08	2.11	2.20	2.20	2.17

2023年度の給付管理数合計のうち、サ高住件数は369件

参考 2022年度の給付管理数合計 949件 (うちサ高住数 301件) 平均介護度 2.08

2 介護予防受託数 (2023 度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	3	3	3	2	2	2	1	0	0	0	20
要支援2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	38
計	5	5	6	6	6	5	5	5	4	4	4	3	58

参考 2022年受託件数合計 53件

3 認定調査件数 (2023 度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	2	10	5	5	2	1	4	1	1	2	1	6	40

参考 2022年認定調査件数合計 50件

4 研修受講状況 (2023 年度)

4月	役付職員研修(法人内)
5月	BCP研修(市老協研修)、熱中症・脱水研修(法人内)
6月	食中毒(法人内)
8月	感染症対策実地研修(法人内)
9月	介護予防ケアプラン作成研修(京都市介護支援専門員会研修)
10月	口腔ケア・誤嚥性肺炎(法人内)
12月	身体拘束研修(法人内)
1月	認知症と接遇(法人内)、高齢者の虐待予防(法人内)
2月	高齢者の権利擁護と法令遵守・プライバシー保護(法人内)
3月	ハラスメント研修(法人内)

➤ サービス付き高齢者向け住宅 きよみず苑・京都東

2023年度は入居室数36件(空室3件)という、やや低調な入居件数から始まったが、待機者や紹介業者への連絡を先読みすることなどにより、出入りは激しかったが入居室数の維持に努めた。

入居者の高齢化、認知症進行によるBPSDなど施設入所と変わらないリスクがある中で「安心・安全な自由な暮らし」の実現をすべく多職種が連携して在宅生活を支えてきた結果、平均入居室数38件で落ち着いた。イベントとして、日頃の感謝を込めて9月には「純喫茶」をイメージした無料特別喫茶を実施し好評を得た。

1 入居の状況(月末の契約数)(2023年度)

	入居室数 (月末)	新規 入居室数	退居 室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4月	36	0	2	12	30	42
5月	38	2	0	13	32	45
6月	39	1	0	13	33	46
7月	39	0	0	13	33	46
8月	38	0	1	13	32	45
9月	38	1	1	14	31	45
10月	38	0	0	14	31	45
11月	37	1	2	14	29	43
12月	38	2	1	15	29	44
1月	38	1	1	15	29	44
2月	39	1	0	16	29	45
3月	39	1	1	17	28	45

2023年度 平均入居室数**38**室、平均入居者数**44.5**名、新規入居室数**10**、退居室数**9**
 参考 2022年度 平均入居室数**38**室、平均入居者数**44.0**名、新規入居室数**9**、退居室数**8**

2 入居者の年齢構成(2023年度末現在)

年齢	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	0	2	9	12	14	8	0	45
割合(%)	0	0	0	4.4	20	26.7	31.1	17.8	0	100

2023年度末の平均年齢は、**88.6**歳
 参考 2022年度末の平均年齢は、**88.1**歳

3 入居者の介護度(平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算)(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
自立	2	2	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3	31	5.8
要支援1	0	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	25	4.7
要支援2	4	4	4	4	4	5	5	4	3	3	3	3	46	8.6
要介護1	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	9	111	20.7
要介護2	13	14	14	14	14	13	13	14	15	14	14	15	167	31.2
要介護3	9	9	9	8	8	8	8	6	6	6	6	6	89	16.6
要介護4	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	17	3.2
要介護5	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	5	5	49	9.2
合計	42	45	46	46	45	45	45	43	44	44	45	45	535	100
平均介護度	2.23	2.14	2.14	2.16	2.16	2.13	2.13	2.05	2.08	2.04	2.11	2.14	2.13	

参考：2022年度平均介護度は、**2.13**

4 行事・レクリエーション 実施状況(2023年度)

毎週月曜日	イオン移動販売車での「きよみず苑訪問販売」
第1木曜日	たちばな健康体操
第4木曜日	映画鑑賞会(ラウンジ)
毎月1回	管理栄養士による特別喫茶

*9月24日 日頃の感謝を込めて特別喫茶「純喫茶」をテーマに無料提供を実施

3. 本部管理部

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が日本の感染法上の分類で2類から5類に変更となり社会経済活動と感染症対策の両立の社会（with コロナ）に政府が方向転換したことで、今まで自粛していた研修や地域の行事などが再開されるようになり、本部管理部の職員も参加し地域とのつながり、人とのつながりが戻ってくるようになった。

社会経済活動の回復により、介護用品、衛生材料、消耗品等、今まで品薄状態になっていた物は解消されたが、人手不足による人件費の高騰、世界各地で起こっている戦争や紛争による原油や資材の高騰、円安による輸入品の高騰と高騰ばかりであらゆる物が値上がりし運営が難しくなっている。

➤ 施設管理課

本年度も、人事・経理・財務・保安・保守・営繕において、栄光会全体の部署に関わる担当課として、施設のハード面から人材確保・福利厚生などのソフト面に至るまで各部門の運営が円滑に進むよう種々の取り組みを行った。

○施設維持管理、保安・保守

1 設備等の維持管理業務について

(1) 東旺苑に関しては、建築後36年が経過し、建物及び設備の老朽化が激しく、建物については、目視による日々の見廻り、庶務営繕職員及び宿直職員からの報告による迅速な対応により、要修繕箇所を見つけ最小限の修繕により費用負担の軽減を図った。2023年度の事業計画書にも計上していたナースコールのハンディ（PHS）の修理終了に伴い入替工事を7月に行い、リフト浴設備の入替工事を年度末の3月に行った。事業計画には計上されていない厨房のガス台及びコンロの入替を行った。来年度以降も老朽化した設備については、修繕又は入替えのどちらが費用対効果が良いか検討しながら行う。

(2) きよみず苑の設備維持管理業務については、開設後9年を経過し建物の劣化や汚れなどが目立ってきている。業者による建物管理のほか営繕等は小さなうちに速やかに対応し、汚れの対策は定期的な業者の床清掃等のほか職員による高圧洗浄機などを用いた清掃を今年度に開始した。消耗品や機器の老朽化などは避けることが出来ないが、現在あるものを長く維持活用できるように職員にも徹底している。

*空調機フィルター清掃→年2回業者が実施

*建物外整備（屋上・外周）など→年2回程度職員合同で実施のほか、本部管理部で適宜対応

*デイサービス以外の車両管理（洗車・各種整備・タイヤ交換）→本部管理部で適宜対応

2 各施設の防災対策等については、各防火管理者が企画する訓練や研修（きよみず苑は現場職員が研修責任者）を行い、職員の対応力や知識は以前に比べ向上した。また、本部管理部では今年度に採用した職員を防火管理者とすべく育成を開始した。「介護事業者の業務継続計画（BCP）」については、来年度の義務化に備え、細かな内容の絞り込みや計画に基づく訓練を行い見直しも行ってきた。BCPは消防計画との整合性も進めており、両施設が連携して災害に対応できるように整備を進めている。

*自主防災訓練の実施状況（2023年度）

実施月	訓練内容	実施施設
8月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東
11月	自衛消防訓練(夜間想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
	BCPに基づく災害対応訓練(水確保など)	きよみず苑・京都東
3月	自衛消防訓練(日中想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
	土砂災害に係る避難訓練(図上訓練)	特別養護老人ホーム東旺苑
	自衛消防訓練(夜間想定)*夜勤職員特化で実施	きよみず苑・京都東
	自衛消防訓練(夜間想定)*宿直特化で実施	きよみず苑・京都東
	京都市シェイクアウト訓練	全施設

○衛生管理関係

職員のメンタル不調予防のための「ストレスチェック」は、今年度も11月に対象者全員実施。結果については、全国平均より約7割増ではあるが、2021年度より減少。3年分のデータに基づき、今年度より部署別のデータを法人幹部に提出している。面接指導を希望する職員は今年度も全く無く、内容の把握は不明だが、法人の基本方針に基づき働きやすい職場作りと仕事と生活の調和を目指し取り組みを進めてきた。

職員の定期健康診断・特殊健康診断等も予定通り実施。また、今年度より定期健康診断の結果、「異常の所見」があるなど労災保険による二次健康診断等給付を受けられる対象者には健診を促し、さらなる健康管理を推進した。

労働災害は、帰宅中の自損事故による通勤災害1件のほか、ベッド移乗介助などの身体的負担に起因する介護職員の業務災害3件が発生。いずれも法人が安全衛生管理責任を問われるものでない。

○人事労務関係

今年度も、引き続き職員が働きやすい職場環境の維持のため、育児休業に対して就業規則を変更した。

○人材確保

- 1 新型コロナウイルス感染症が蔓延時においては、派遣介護職員を0名まで削減したが、その後の感染症法上の5類に移行し、それに伴い感染措置の緩和により、各方面での人材不足の影響もあり、介護職としての応募者が激減した1年であった。当法人においては、しばらく介護職員の離職は減少傾向であったが、離職者数12名のうち、介護職員が6名と半数を占め、うち介護職員の採用は3名と半数の補充にとどまった。また、ここ数年間、看護師の配置において、法人の直接雇用者が続かず、単発的に派遣対応があったが、この1年で全て解消でき、安定した配置が実現できた。また、懸案であった法人の将来を担う経理職員の採用も実現、現在育成中である。

人材の推移について、ホームページ及び直接応募3名、ハローワーク3名、職員紹介、就職フェア、NETサイト各1名、合計9名の採用。離職者は介護6名、看護1名、相談員1名、宿直2名、配膳係2名、合計12名であった。

新卒採用について、大卒者の面接後に内定を出すも入職につながらず残念な結果であった。高校生他においては、各校に募集を出すも反応がなく採用には結びつかなかった。

2 法人・役付職員研修会の開催状況（2023年度）

開催月	研修内容	講師	参加人数
4月	2023年度事業計画、人事考課と人材育成	統括施設長、各部部长、局長	22名

○助成金活用事業

老朽化やリースアップによる車両の入替のため、積極的に助成金の申請を行ったが、日本郵便・京都府遊技業協同組合、公益財団法人みずほ教育福祉財団など否採択が続いた。

しかし、公益財団法人JKAに申請した「競輪とオートレースの補助事業」の福祉車両購入申請が採択され、1,300千円の交付決定通知を得られた。こちらは4月以降に車両購入などの手続きを行うので、受給は来年度の予定。

○地域貢献

新型コロナウイルス感染症が5月に感染症法上5類に移行となり、インフルエンザ等と同等の扱いとなり、地域自治体を実施する各種催しも、コロナ前の規模には至らないが縮小して行なわれた。しかし、施設内で感染拡大が発生すると入居者や職員の生命に影響し、公的支援も打ち切りになったため、イベントは施設内のみで実施を継続。まち美化活動や防災訓練等生活に必要なものに関しては、引き続き参加した。

また、本年度4月よりきよみず苑3Fラウンジに、京都市とダイドードリンコが「京都市子ども・若者未来応援自動販売機（飲料、お菓子）」を設置「京都市はぐくみ未来応援事業」に売上の1%をダイドードリンコが代行し寄付を行なっている。

○経費削減・物価高騰に対する支援金

- 1 今年度も戦争、紛争による世界情勢が不安定のため、原油高が原因でエネルギー関係（電気料金、ガス料金）が値上がりし、石油を原材料とするビニールやプラスチックで出来ている介護用品（オムツ、パッド）及び衛生材料（アルコール消毒、手袋）も値上がりしている。しかし、電気料金に関しては、関西電力でなく日本テクノ（新電力会社）と契約しており、市場連動型と固定単価型の二種類が有り、日本テクノの担当者と市場の動向について常に連絡し情報を

共有することにより、その月に二種類のどちらの単価が安いか検討し変えることで前年度に比べ7,000千円を削減することができた。
また、京都市より長引くコロナ禍に引き続き原油価格高騰・物価高騰に直面する中、高齢者施設等が利用者負担を増やす事が無いようにと「食材費高騰対策支援金」支給回数3回 約4,296千円、高齢者施設等が安定的な運営を行うために「物価高騰対策支援金」支給回数3回 約9,635千円の補助金支給を受けた。

- 2 人件費に関しては、派遣職員費を前年度に比べ約1,300千円削減できた。しかし法定福利費（法人負担の社会保険料）が賞与等一時金の控除方法が変わったため約5,500千円、労働保険料率が上がったため約350千円増加した。なお、来年度以降も社会保険料の控除方法は同じであるため、給与賞与額等が大きく変動しなければ法人負担の社会保険料も大きな増減はない。

➤ 栄養管理課

2023年度も、東旺苑ときよみず苑の両施設ともに、各部と連携し計画・実行するものについては、検証を行い、現在のサービスを精査しながら、より良い「食・栄養」の提供をご利用者の「楽しみ」へ発展させるよう努めた。

○栄養管理課全般

- 1 毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、また改善点や食事提供方法などについて検討・情報共有を行い、より質の高い食事の提供を実施することができた。
- 2 月に1回のサ高住特別喫茶の企画では、管理栄養士とヘルパーステーションの職員が協力して行い、更に給食委託会社の職員の協力も得て、季節に応じた特別メニューを手作りで提供し入居者様の楽しみやコミュニケーションの増進に繋がった。サ高住で月一回の特別喫茶の継続を目標にし、毎月30名弱の参加者があり定着している。
- 3 嗜好調査や情報発信など
両施設のインスタグラムへの投稿、きよみず苑運営推進会議への資料提供、家族や外部への情報発信を可能な限り行った。今年度の嗜好調査が終了していない為、終了後に公表を行う。

○東旺苑・配食サービス事業

法人の地域貢献事業の一つで、京都市の委託を受け東旺苑が実施する地域の要介護独居高齢者等への配食サービスに関しては、新規利用者の受入れに努め上半期に関しては食数に伸び悩んだが、下半期に入り多くの新規利用者様の契約が増えた。一年を通して前年度より一日平均1.4食の増加となった。次年度も積極的に新規の受入れを継続し、地域の独居高齢者等の生活支援や安否確認など地域貢献に積極的に取り組んでいく。

*配食サービスの実施状況（2023年度）

	要介護 (500円)	同居 (670円)	自立 (750円)	合計
4月	326食	0	0	326食
5月	338食	0	0	338食
6月	302食	0	0	302食
7月	347食	0	0	347食
8月	375食	0	0	375食
9月	358食	0	0	358食
10月	404食	0	0	404食
11月	410食	0	0	410食
12月	426食	0	0	426食
1月	438食	0	0	438食
2月	394食	0	0	394食
3月	426食	0	0	426食
合計	4,544食	0	0	4,544食
1日平均	12.4食	0	0	12.4食

参考 2022年度は、合計4,029食、1日平均11.0食

4. 法人事務局

法人事務局として、理事会・評議員会を滞りなく開催。栄光会の運営に関して、人事採用面での業務、賞与や介護職員処遇改善加算等の成果報酬に係る業務を統括施設長のもと本部管理部と連動し執り行った。他に、通年において施設整備や契約関係について本部管理部を補佐した。

○法人事務

経年劣化により単発的に不具合が発生する東旺苑の設備機器等について、施設管理課を補佐し迅速に対応した。

法人の運営に関わる就業規則や規定については、法改正にかかわらず「就業規則」「非正規職員就業規則」「個人情報保護に関する規定」を現状に即して改定、法改正に基づき「育児・介護休業に関する規則」の改定を行った。

○法人事業広報活動

本部管理部として、主に採用に関する活動に関し、・ホームページ・ハローワーク・京都府関連の公共の就職サイト・WEB 求人紹介サイトにおいて、頻繁に求人情報を更新。ホームページからの応募においては、念願の経理職員の採用を含め2名の採用、ハローワークから3名、WEB 媒体から1名、法人内周知の職員紹介より1名、就職関連のフェア参加において1名、派遣職員への声かけによる転換1名の実績であった。

新卒採用においては、面接内定まで進めるも残念ながら入職に結びつかない結果であった。

○理事会、評議員会等の運営事務

*理事会・評議員会等の開催状況（2023年度）

5月	監事監査	2022年度 会計、業務監査
	理事会	2022年度 決算報告・事業報告、 2023年度 6月開催の定時評議員会の開催日と議題について
6月	評議員会	2022年度 決算報告・事業報告 他
12月	理事会	2023年度 上半期収支報告・事業報告 他
3月	理事会	2023年度 補正予算
		2024年度 予算・事業計画 他

○助成金活用事業

過去多用してきた厚生労働省のキャリアアップ助成金について、非正規職員から正規職員への転換において1名 570,000円の支給を受けた。その他、設備機器等の入替等において助成や補助金に複数応募するも全て選考から漏れ残念な結果となった。